

事務事業名		公立保育所運営事業		所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
総 計 画 体 系	政策名	(Ⅲ)地域で支えあうらしづくり《保健・医療・福祉》		所属G	子育て支援グル ープ	課長名	狩野 明芳
	施策名	(22)子育て支援の充実		担当者名	今岡 靖	電話番号	0854-40-1044 (内線) 3626
	目的 的 対 象	A)子ども(乳幼児・児童生徒) B)子どもの保護者	意 図	A)心身ともに健やかに育つ。B)安心して子育てができる。		予算科目	011503 1015
	基本事業名	(064)子育て環境の充実		大事業名	公立保育所管理事業	中事業名	各保育所運営事業

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 16 年度～ )
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	雲南市の公立9保育所において、入所児童の健全な育成のため、特別保育事業の実施など多様化する保育ニーズに適応した保育機能を充実させる。また、児童福祉法に定められている施設及び運営の最低基準を維持しつつ、入所している児童が安全で健康的に保育されるよう保育環境の向上に努める。

(2)事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動) 市立保育所7園(大東・加茂・木次・斐伊・吉田・田井・掛合)の管理運営 (業務委託保育所のかもめ・三刀屋は除く)	26年度計画(26年度に計画する主な活動) 市立保育所6園(大東・加茂・木次・斐伊・吉田・田井)の管理運営 (業務委託保育所のかもめ・三刀屋・掛合は除く)			
	② 活動指標	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (計画)
	ア 市立保育所入所児童数(年度末)	人	803	809	844	868
	イ					
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (計画)
	市立保育所入所児童及びその保護者	ア 市立保育所入所児童数(年度末)	人	803	809	844	868
		イ 市立保育所定数	人	725	755	780	770
		ウ 市立保育所数	箇所	9	9	9	9
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (計画)	
公立保育所に入所する児童を心身ともに健やかに育成する。	ア 待機児童数(10/1基準日)	人	10	10	9	10	
	イ 入所率(入所児童/定員)	%	110.8	107.2	108.2	112.7	
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)	
事業費全体:234,404千円 (うち、県補助金:6,728千円、その他保育料・受託料等115,683千円)	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	2,250	2,571		
		県支出金	千円	5,160	5,259	6,728	
		地方債	千円				4,522
		その他	千円	107,718	106,366	115,683	101,236
		一般財源	千円	119,867	107,699	111,993	107,086
	事業費計(A)	千円	234,995	221,895	234,404	212,844	
人 件 費	正規職員従事人数	人	64	62	69		
	延べ業務時間	時間	118,040	118,040	120,000		
	人件費計(B)	千円	465,314	462,481	467,160		
トータルコスト(A)+(B)	千円	700,309	684,376	701,564			

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
少子化に相反して保育所入所児童数は増加の傾向にあり、保育所によっては制度の範囲内で定員を超えて入所させざるを得ない状況である。また、年齢や申込時期等により希望園への入所が困難な場合もある。近年、計画に基づき、かもめ保育園(H20～)、三刀屋保育所(H22～)の保育業務の民間委託を実施している。また、H25.4月～認定こども園制度を導入し、質の高い教育・保育を提供する木次こども園を開設した。	年々児童数が増加してきているので、待機児童が出ないように対応が必要となる。保育サービスの充実を図るためには、保育業務に係るマンパワーの確保と行財政改革の推進を図ることが必要であり、そのためには保育業務委託を推進するとの結論に至り、「公立保育所保育業務委託」を実施している。また、質の高い教育・保育を提供する認定こども園制度を導入した。	保育所入所児童が増加する一方で幼稚園の入園児数は減少傾向にあり、今後、保育所と幼稚園との一体的な運用を更に進めるために、施設整備についても検討する必要がある。年度途中入所児童に対応するための保育士配置＝臨時職員(保育士、看護師等)の確保が困難な状況になっている。

事務事業名	公立保育所運営事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	受け入れ児童の拡大のための施設整備等	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	法で義務付けられている保育の実施ができない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		児童福祉法に基づく措置制度のため
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
評価 の 総 括	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		法を遵守しながら、児童の受け入れを実施している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
評価 の 総 括	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		保育業務の委託化により、経費(人件費)は削減可能である。
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
評価 の 総 括	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		制度に基づき実施しており、適正である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 入所児童数の増加に伴う臨時職員(保育士、看護師等)の確保が難しく、保育所運営に影響を与えている。	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
評価 の 総 括	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
評価 の 総 括	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<ul style="list-style-type: none"> <li>入所児童数の増加に対応するための基準を満たす保育士の配置</li> <li>施設老朽化による増員整備により、保育環境を整え、多くの児童の受入を図ることができる。</li> <li>保育ニーズを踏まえ保育所業務委託計画等に基づき実施する必要がある。</li> <li>H27年度からの子ども・子育て支援新制度に向け、既存施設を活用した認定こども園化など、具体的な検討が必要となってくる。</li> </ul>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		